

# 小野川温泉

(山形県米沢市)

## 注目ポイント！

鉄道会社と旅行会社との連携により、小野川観光温泉「知」実行委員会を中心に観光の振興。小野川の魅力を全国に発信。



首都圏をはじめとする県外からの観光客が増加に転じる。  
約56,000人(平成13年度)から約77,000人(平成17年度)に！



小野川温泉

## コラム

小さな温泉街「小野川温泉」を魅力あるものにするため、佐藤氏は若手リーダーとして地域をまとめ「夢ぐりプラン」「そぞろ歩きお休み処」「どこでも出前」等数々の新たな試みを行い、短期間で小野川温泉を「そぞろ歩きができる温泉街」として全国から注目される地域に成長させた。



観光カリスマ河鹿荘代表 佐藤 雄二氏



小町の湯



霊泉・小野小町



霊泉・峰の薬師

## これまでの経緯

- 昭和56年(1981) イベント中心に地域づくり行う。
- 平成 2年(1990) 観光客の減少が始まる(～平成13年)
- 平成13年(2001) 鉄道会社と旅行会社との若手勉強会よりハードからソフトのまちづくりが提案される。この提案を受け、小野川温泉観光「知」実行委員会が発足。「夢ぐりプラン(温泉手形)」「そぞろ歩きお休み処」「どこでも出前」をスタートする。

## 主な取り組み

### 夢ぐりプラン(湯めぐりプラン)

小野川の温泉旅館と共同浴場のうち3カ所が利用できる手形。手形は地元特産の独楽で、使用后、独楽の色付け体験が無料。

夢ぐり手形



### そぞろ歩きお休み処

各旅館共通の下駄を用意し、野点の傘下に腰掛け温泉気分を満喫。さらに朝市の開催、レンタサイクルの無料の貸出しも実施。



下駄で散策



出前ポイント

### どこでも出前

旅館や食堂での食事より、自然の中で食事をするものの気楽さや気持ちよさを感じてもらうため、最上川源流「大樽川」沿い等の出前ポイントで米沢ラーメン、そば等の出前を行う。冬季間は4基のかまくら内でも実施。

### 小野川温泉観光「知」実行委員会

小野川温泉の宿泊客は平成4年の28万人から平成13年に19万人に減少。そのような中、鉄道会社・旅行会社の若手勉強会から観光地開発を行いたいと小野川温泉にオファーがあった。そこで、地域を「知」り、観光に「知」恵を絞ろうと、佐藤氏を委員長とする旅館・商店の宿泊施設の若手経営者が中心となって『小野川温泉観光「知」実行委員会』が発足。

議論の末、温泉街の道路は旅館の道路、河川は旅館の中庭と考え、お客様にまち全体で楽しんで頂くまちづくりを行う。これにより平成14年から首都圏の宿泊客が増加。



委員会風景

### 問い合わせ先

小野川温泉旅館組合

Tel : 0238 - 32 - 2740 <http://www.onogawa.jp/~ryokan/>

米沢市商工観光課

Tel : 0238 - 22 - 5111 <http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/>